

回覧

合言葉は、
ツミヒノマハカタ。

実写と
アニメ風動画の
ハイブリット作品

ゆめ うつつ
夢か、現か。
たぬき しわざ
狸の仕業か。

Story of Takahama

上映会

2026年3月22日〔日〕14:00～ 受付開始 13:30～
閉会予定 15:40

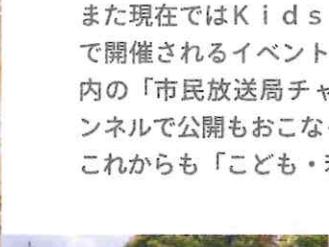
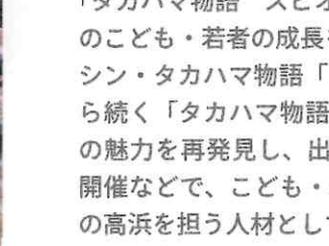
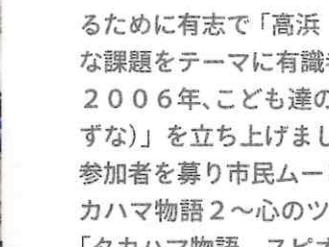
場所 かわら美術館・図書館ホール

事前申込は
こちら(任意)



進路も自信も見失いかけた高校生・瑞希。ある日、大山公園で不思議な存在“ツミヒ”と出会い、
内緒の呪文「ツミヒノマハカタ」を知らされる。友だち、家族、そして“大タヌキ様”——
笑って、ちょっと泣けて、最後は心があたたかくなる高浜発・市民映画。





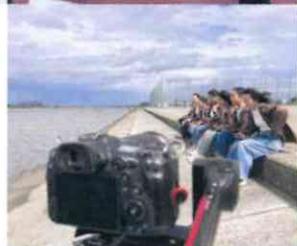
高浜(まち)づくり市民会議 Kids Now実行委員会

1996年、高浜青年会議所で行った「まちづくり」を更に発展させるために有志で「高浜(まち)づくり市民会議」を発足、こどもをめぐる様々な課題をテーマに有識者を招いた勉強会・講演会等の開催をしてきました。2006年、こども達のまちづくりへの参加を支援する「Kids Now(きずな)」を立ち上げました。2011年、高浜市内のこどもから高齢者まで参加者を募り市民ムービー「タカハマ物語」を制作、以後、4年おきに「タカハマ物語2～心のツバサ」、「タカハマ物語3～お願いタイムマシーン」、「タカハマ物語 スピオフ3作品」を制作。主に映像制作等を通じて高浜市のこども・若者の成長を応援する事業に取り組んでいます。

シン・タカハマ物語「Story of TAKAHAMA」は2006年から続く「タカハマ物語」制作に関わる活動を通じて、普段見慣れた「まちの魅力」を再発見し、出演者、アニメ作画、声優、歌手、編集、上映会」の開催などで、こども・若者達が幅広い役割を経験・体験することで、将来の高浜を担う人材として大きく成長してもらうための活動です。

また現在ではKids Nowチャンネルも立ち上げ、こどもや若者が市内で開催されるイベント等を取材・編集をして、ケーブルテレビKATCH内の「市民放送局チャンネルDaichi」で放送・YouTubeチャンネルで公開もおこなっています。

これからも「こども・若者の成長応援」のために活動していきます。



《出演》

瑞希/加藤 由麗
ツミヒ/杉江 理佳
紗那/杉浦 由姫
和花/山本 葉月
ミィ(幼少期)/内藤 香乃
ミィ(幼少期)(声)/杉浦 春妃
オオタヌキ(声)/先生/鈴木 孟
オオタヌキ(声)/小栗 娘馬
瑞希・母/内藤 洋子
日依/加藤 凜乃

《声出演》

本多 真也
ヤドベドロリュウイチ
稲田 風太
楠原 弥奈里

鈴木 奈沙
清水 虹葉
神谷 七海
上野 華楓
真鍋 侑子
藤井 咲希

《アニメーション・作画制作》

村田 朱音
鏑本 美玖
鈴木 沙季
南谷 望
清水 惟加
岩崎 蘭

《アニメ制作指導》

山本 幸永

《エンディング曲》

「ツミヒノマハカタ」
ドリームパレット
作詞・作曲/杉浦 利昌

《挿入歌》

「この高浜(まち)には」
ドリームパレット
作詞・作曲/杉浦 利昌

《ドリームパレット》

南谷 望
天野 梨花
杉浦 春妃
加藤 凜乃
中村 ちえ
内藤 洋子
杉江 理佳

《撮影協力》

岡部 重郎
《タイトルデザイン》
山本 幸永

《動画編集・AI制作》

水野 いろは
赤堀 鈴
山下 晃生
小嶋 優衣花
鈴木 惟都
浜口 直之
山下 大翔

《声優指導》

堀尾 雅彦

《Kids Now 実行委員会》

鳥居 正幸
鈴木 康博
高桑 雄司
神谷 環光
小島 真登
内藤 加代子
野々山 ゆり
小笠原 亘
神谷 彩心
横井 しほ
楠原 雅彦
杉浦 功暉

《小説審査委員》

鳥居 正幸
吉岡 初浩
たかはまこ

藤末 さくら

竹巻 和馬
加藤 鉄児

《音楽》

株式会社
アースウイングミュージック

《広報デザイン》

山本 幸永

《スペシャルサンクス》

株式会社 タイアサ
伊藤家のみなさん

《原作》

「〇番目のタヌキ」
著者/山岸 マロニィ

《脚本》

杉江 理佳

《プロデューサー》

神谷 環光

《協力》

高浜市

《制作・主催・著作》

高浜づくり市民会議

Kids Now 実行委員会

《監督・脚本・撮影・編集》

竹巻 和馬

お問い合わせ

Kids Now(きずな)実行委員会 事務局
担当: 杉浦

TEL: 0566-52-1111【内線 365】
(8:30 ~ 16:00 土・日・祝を除く)

市役所 TEL: 0566-95-9501(直通)

あたまとカラダの体操



音楽に合わせて、かる〜く体をほぐしませんか？



開催日 毎月 第1・第3 木曜日

時間 午前10時30分～11時30分
(受付は、10時20分～)

会場 高取ふれあいプラザ1階

参加対象 概ね60歳以上

女性
限定

内容 音楽にあわせて
ゆるくあたまを使った体操

服装 運動靴(土足OK!)
ジャージなど動きやすい服

持ち物 タオル・飲み物



令和8年度 開催日程表

	第1 木曜日	第3 木曜日
4月	2日	16日
5月	/	21日
6月	4日	18日
7月	2日	16日
8月	6日	/
9月	3日	17日
10月	/	15日
11月	5日	19日
12月	3日	/
1月	/	21日
2月	4日	18日
3月	4日	/

参加費
無料

※ 都合により中止になる
場合があります

予約制ではありませんので
お気軽にご参加ください

【主催/問い合わせ】高取まちづくり協議会

〒444-1313 高浜市向山町1丁目214番地4

☎ 0566-55-3894 (平日午後1時30分～4時30分)

tori-machikyo@katch.ne.jp ホームページはこちらから



たかしま文化

第54回 文協祭芸能発表会・お茶席・いけばな展

令和7年11月30日(日) 高浜市地域交流施設 たかぴあにて開催



友情出演 ダンススクール パズル



お茶席



クラシックバレエ



友情出演 えんちょこ獅子保存会



剣詩舞



友情出演 初代三州瓦音頭踊る会



日舞



いけばな展



友情出演 MUG(マグ)バンド



友情出演 たかしまパンダ音楽隊



高浜市文化協会 〒444-1332 愛知県高浜市湯山町六丁目6番地4 TEL・FAX (0566)52-2983

市民川柳

一般の部 入賞作品

教育委員会賞

盆提灯家族がひとり増えました

石川美代子

高浜市文化協会奨励賞

晩学に火がついて今老春期

谷口 郁子

中学生の部 入賞作品

高浜市文化協会会長賞

真つ青な空とつながる海の色

高木 錬

優秀作品賞

窓の外つばめが空へ舞い上がる

高瀬ひかる

夏大会もらえなかつた背番号

猪塚 蓮

二年生僕のクラスは動物園

山屋 龍惺

僕は毎日楽しく過ごす

山屋 龍惺

「よろしければ」カートのカゴを入れるくるる
若きに会ひぬけふ良き日なり 朝居 た江

高校生の部 入賞作品

中日新聞社賞

呼びおこす言葉のように耳すます

東山 爽太

優秀作品賞

部活あとスマホの画面みつめても

小林 幸哉

君とのライン返ってこない

新美小百合

将来を聞かれるたびに笑ってる

新美小百合

連打する祭り太鼓に滾る町
「幸せになれよ」と孫にメール打つ
妻の愚痴聞いて晩酌長い夜
孫曾孫集う我が家はおもちゃ箱
長湯すりや生きているかと声が飛ぶ

江崎 秀子
井上 俊一
稲垣 義舟
杉浦 康司
加藤 幸市

高校生の部 入賞作品

高浜市文化協会会長賞

腕立てで床と語った夜がある

安村ヨシアキ

優秀作品賞

部活動無駄にはしない君のバス

角谷健志郎

女子高生特殊能力目で会話

米澤 衣吹

【総評】

今年も「春日の森 市民俳句・短歌・川柳の集い」が、例年通り開催され、多くの作品が寄せられました。このところは高浜市の人よりも市外からの人の応募が増え、それぞれが切磋琢磨しています。市内の皆さまもぜひ、ご応募いただき市の行事を盛り上げたいと思います。

俳句・短歌・川柳の短詩系文学は、その短さゆえにだれでも自由にチャレンジすることが出来る、しかも奥の深さもありますので、「言葉」に関わる楽しさも味わえます。

私たちの暮らしに「言葉」はなくてはならないものです。この会がいつまでも続きますことを祈念申し上げ、総評と致します。

(俳句選者 永井江美子)

編集後記

第54回文協祭の呈茶席には、昨今の抹茶ブームの後押しもあってか、若いご家族連れの方々にもたくさんご利用いただけました。ただ、抹茶ブームであっても茶道ブームとまでいかないことに忸怩たるものは感じます。

年も改まり、今年の干支は60年に一度の丙午（ひのえうま）です。「丙（ひのえ）」の「陽の火」と「午（うま）」のパワフルなエネルギーが重なる最強の年。前向きな姿勢が運を呼ぶそうです。さらに一歩進めて輝く知的なエネルギーで満ちる年となりますように。



青山敬子 作

(鈴木裕子)



定時総会

○日時：4月25日(土) 午前10時
○場所：高浜市女性文化センター 2階

第38回 琴伝流碧美会大正琴発表会

○日時：4月19日(日) 開演：午後1時
○場所：碧南市芸術文化ホール シアターサウス

第54回 文協祭会員展

令和7年8月30日(土)~9月28日(日) 高浜市やきものの里かわら美術館・図書館にて開催



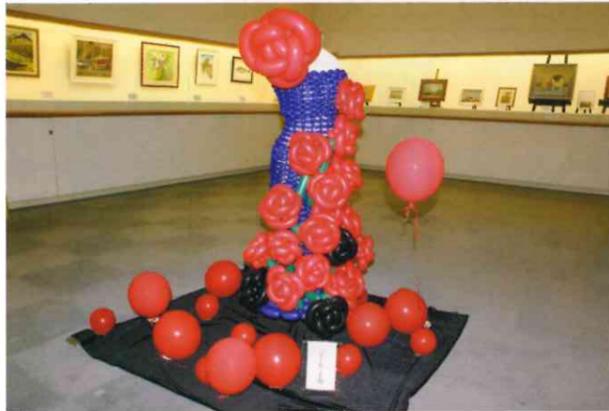
洋画



水彩



川柳・短歌



バルーンアート



陶芸

書道



切手アート



手芸



高浜中学校 美術部



こども造形



ワークショップ(写真部)

第三十三回 春日の森 市民俳句・短歌・川柳の集い

市民俳句

一般の部 入賞作品

市長賞

大空を引き寄せ無花果挽ぐ少年

県議会議員賞

潮の香に爆ぜるポン菓子雲の峰

高浜市観光協会賞

曼珠沙華あなたの愛にはかなわない

高浜市商工会賞

蟬時雨むこうはクーリングシエルト

高浜市文化協会賞

背曲りし母の手中に茗荷の子

高浜市文化協会奨励賞

今日咲きし日々草の今日を終え

手渡しで受ける郵便秋暑し

高校生の部 入賞作品

高浜市文化協会賞

入道雲大きく空を押しひらく

優秀作品賞

夏の空振り返りつつ前を向く

冬の朝雪の地面をふみ鳴らす

汗まみれ青春チャリこく海の道

ススキ揺れ私を感じる月の下

小中学生の部 入賞作品

高浜市文化協会賞

花びらがポストに一枚春を知る

水野 巨海

多田 真弓

三木 裕子

神谷 好美

山北千代乃

齋藤 保夫

本多 映子

大参 丈琉

大島 深結

中嶋 麻琴

鈴木 勇輝

鈴木 博

大嶋紗矢香

優秀作品賞

高浜小学校

夏空へ放つシエルトがこをえがく

さくらさくあなたとわたしがえがおさく

馬走る春日の森にひびく歓声

せみ時雨負けじと「パス！」とひびく声

夏祭り全部はずれのくじ引きだ

観に行こう山に広がる秋色を

吉浜小学校

くり返す出会いとわかれ桜ちる

おぼんの日ご先祖さまがおもどりを

タンポポはふまれて死なぬ強い花

わからない夏の宿題まだ予習

うろおぼえみんなでおどるほんおどり

高取小学校

六月に植えたトマトのまつかな実

太陽に入道雲がかぶさった

夏の花耳いっばいの波の音

おまつりやたいこのおとでひきよせる

広い海キラキラ光る夏の青

ラムネ飲みガラスだま取るいとこたち

港小学校

なつやすみトーストされるこげそうだ

ザクザクといひ音ひびくおち葉たち

スイカわり空振り三振はいアウト

天の川二人が出会う恋の川

翼小学校

どんぐりをポケットにつめ帰り道

天の川織姫たちは会えたかな

西日照る入道雲のすきまから

杉浦 老

杉浦 晴白

永山 怜奈

伊庭弦之介

江坂 徳馬

水上 琉海

太田 葵

原田 悠生

岡田 愛奈

内藤 花奈

神谷 晴香

布施 悠翔

真鍋 侑子

杉浦 百花

大谷 紡

岩間ゆうほ

斎藤 万寛

山口アレックス慎司

石川丈太郎

原田 諒陽

大佐々結香

内藤 稜梧

赤塚 愛徠

岩室 咲

春風にみんなが夢をしゃべりだす
夏祭りどきどきしたな抽選会
ばちばちとせんこう花火まだねばる

高浜中学校

炎天に向かつて走る陸上部

向日葵やスリーポイント決めてやる

秋麗絵の具飛び散る美術室

夏休み海でイルカが呼んでいる

いつもの風景いつもの教室風光る

春の空ふわふわ雲のできあがり

南中学校

知らぬ間に背が伸びていた春の服

冬が好き手を繋ぐ理由でできるから

ほかほかとあなたみたいなさつまいも

山や川田舎の夏は映画みたい

冬休み北のほうからプレゼント

桜ふるまたどこかでと別れ告げ

真夏日の旅世界各国パビリオン

春が来た新たな一歩よいいドン

道はたにしかけられてるせみのわな

池末 さや
河合 遥斗
桑 凜音

山口 湊

藤山瑠々愛

石崎 陽和

末永 星耶

藤吉 唯夢

加藤 優奈

進藤 未玖

杉浦いちか

三浦 菜歩

柴田 莉優

黒木 銀斗

山本 芽歩

神谷 羽那

久志 颯斗

上野 華楓

市民短歌

一般の部 入賞作品

市議会議員賞

九十まで星に住めると太鼓判

白衣の面は息子と同じ歳

輪島より届きし蕨にほつとして

今も達者とほろ苦味わう

山桜今年の色薄ぼんやりと

春は短く夏になりけり

縄文の夜の深さを畏れつつ

御岳ふもと車中泊する

金野 アヤ

酒井 幸子

坂野 晴美

星原 風堂

民生委員児童委員だより



あかり

第38号 編集・発行 高浜市民生・児童委員協議会

令和8年3月1日

令和7年12月1日民生・児童委員全国一斉改選



民生・児童委員の歴史と仕事

高浜市民生・児童委員協議会

会長 岩月 正二



大正6年岡山県で「濟世顧問制度」より始まり翌年大阪で創設された「方面委員制度」が民生委員制度のルーツとされています。現在では児童福祉法の改正により民生委員は児童委員を兼ねることとなりました。その後平成6年より「主任児童委員」が制定され現在の形態になったようです。

民生児童委員は3年毎に全国一斉改選が行われ再任も可能です。年齢は民生・児童委員が委嘱日現在75歳未満、主任児童委員が55歳未満の者となっていますが、地域の状況によって弾力的な運用が可能となっております。現在、全国で約23万人の民生・児童委員、主任児童委員が活動しています。

民生・児童委員、主任児童委員の仕事は地域社会に根差して心配事の相談、子育ての悩みなどの相談を受け、事案に応じて行政に連絡し相談者の一助となるものです。

また、主任児童委員は子育て家庭の支援と児童の健全育成を専門とし、担当地区を持たずに地域の民生・児童委員、学校、

児童相談所などと連携しながら虐待、非行、育成不安などの相談に応じ、適切な機関につなぐことです。

民生・児童委員は厚生労働大臣より委嘱され、都道府県知事の指揮、監督を受けることとなっています。その地位は非常勤の地方公務員になります。しかし給与、報酬を伴わないボランティアです。

その仕事は先述した通りですが、特に細かな事が決められている訳ではありません。

単身高齢者の安否確認に訪問した時には、様々な事案があります。トイレの電球が切れてしまったので交換してもらえないか？雨戸が外れてしまったからはめてもらえないか？病院へ行きたいがタクシーが中々来ないから乗せて行ってもらえないか？例を挙げればきりがありません。

簡単な事は人間関係を壊さない意味で処理しますが、病院の送迎等は「それはできません」とお断りします。現場の民生委員の良識ある自己判断です。入院時の保証人を依頼される事もあります。これは明確にお断りをし、専門の保証会社を病院の窓口で聴いてもらいます。

令和7年は民生・児童委員の一斉改選の年でした。

高浜市では55名定員の内15名の方が新任で委嘱を受けております。この先、民生・児童委員のなり手不足が心配です。民生・児童委員だけでなく他のボランティア団体でもなり手不足で困っている様ですので、皆様のご協力をお願いします。

高浜市社会福祉協議会

「人とのつながりが
まちの未来をつくる」

高浜市長 杉浦 康憲



民生・児童委員の皆様方には、日頃から市民に寄り添った相談・支援活動を通じて、地域福祉の推進に尽力いただいておりますことに、御礼申し上げます。

昨年12月には、民生・児童委員の一斉改選が行われ、本市におきましては、39名の方が再任され、新たに15名の方に就任いただきました。再任・新任の皆様におかれましては、地域福祉の要としての「活躍を期待するとともに、退任された皆様におかれましては、これまでのご尽力に、心より感謝を申し上げます。

さて、令和7年を振り返りますと、春から秋にかけて開催された大阪・関西万博は、国内外から延べ2,500万人を超える来場者を迎え、未来社会の姿を示すものとして、大きな注目を集めました。

を集めました。

その一方で、私たちは自然災害の脅威とも向き合い続けています。能登半島地震から2年を迎え、被災地では復興への歩みが続いている中、令和7年も各地で地震等の災害が相次ぎ、青森県東方沖地震などにより、各地に被害が出たほか、太平洋沿岸に津波警報等が発令されるなど、自然災害の脅威が私たちの身近にあることを改めて認識いたしました。

少子高齢化の進展など、刻々と変化する社会において、高齢者をはじめとする見守り活動や孤立防止は、より一層重要な課題となっております。災害の危機に直面するたびに、皆様の「日々の小さな気配り」こそが、地域を支える力となっていることを実感しております。

さらに、子どもを取り巻く課題も多様化しております。本市では、令和6年4月に「子ども家庭センター」を開設し、子どもや家族に対して、専門スタッフがサポートを行っているほか、同年9月には、認定NPO法人全国子ども食堂支援センター・むすびえと「多世代及び子どもの居場所づくりに関する連携協定」を締結し、子どもをはじめとした誰もが気軽に

交流できる場所や活動を「まぜこぜの居場所」と定め、居場所づくりを進めております。

今後も「地域のひととのつながりを軸に、より安心で住みやすいまち」にするべく、力を尽くしてまいりますので、委員の皆様におかれましては、引き続きご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様方のご支援に感謝し、さらなるご活躍をお願い申し上げます。

相手の話を聞くこと

教育長 岡本 竜生



民生委員・児童委員の皆様におかれましては、日頃より児童生徒の健全育成にご尽力いただき、誠にありがとうございます。また、今回の改選によりご退任された方々には、これまでの地域の子どもたちへのご支援に対しまして改めて感謝申

し上げます。

さて、今から15年ほど前に始まった裁判員制度は、国民が司法に参加し、国民の様々な経験、感覚、意見、良識などを裁判に生かし、そのことによって国民の納得が得られる裁判を実現しようとする制度です。当時の私は、この制度は日本人になじむだろうかとおれこれ考えたものですが、今では制度もすっかり定着し、裁判員を経験した人の約97%が、事後にはよい経験だったと答えているそうです。年齢、経験、社会的立場も異なる多様な一般市民が集まった場で、各々がちゃんと議論に加わって妥当な判断を下していく。一般市民がそれほどの知性を備えているのは素晴らしいことです。そして、基本的に真面目なんだと思います。原告、被告はもちろんのこと、その関係者の人生がかかっている以上、自分なりの責任を果たそうと真剣なのでしょ。そんな裁判員制度を取り仕切る地方裁判所の総括判事さんが、「和解の達人」というあので紹介いたします。

民事裁判の話になりますが、まずは原告、被告の双方から話を聞き、記録も読み込んだうえ

高浜市社会福祉協議会
会長 岸上 善徳



民生・児童委員、主任児童委員の皆様には、日頃から地域住民の身近な相談相手として、また当社会福祉協議会と共に地域福祉の推進にご尽力いただきまして誠にありがとうございます。制度発足時の民生委員は、行政の補助機関として、主に生活保護世帯への相談、支援が任務でした。母子世帯であれば子育ての相談、あるいは自立を目指した他方策活用に知恵を絞る一方、自ら就労支援に奔走。

今では民生委員に就任と同時に児童委員を兼務することになっているため、変化の激しい現代社会では、その活動範囲が増々幅広くなっています。在宅高齢者の生活支援や児童の健全育成、子育て支援もあれば、障がい者の自立生活支援などもあります。さらに地域福祉の推進、向上の要ともいえる存在です。で、学校をはじめ、福祉団体などの多様な機関・団体などから事業や行事への協力要請や参加依頼があります。「困った時は

お互い様」という諺があります。まさに「困った時の民生委員・児童委員さん頼み」という実態にあります。

当社会福祉協議会も例に漏れず、赤い羽根共同募金活動では多くの民生委員・児童委員の皆様のご協力をいただいております。その共同募金活動の寄付金は、心配ごと相談事業、わくわくフェスティバルの開催、ボランティア団体への助成、車いすの貸出し事業、車いす利用者の外出等を目的に対応車両を貸出す「こころん貸出事業」など多岐にわたる事業に還元されています。

さて、昨年12月の一斉改選では、多くのベテラン民生委員・児童委員の方が退任されました。改めてこれまでの地域での献身的な活動と当社会福祉協議会へのご支援に感謝申し上げます。一方、新任民生委員・児童委員の選任に当たっては、人材発掘に大変ご苦労されたこと聞き及び、介護現場をはじめとする福祉分野の人材不足とオーバーラップしました。

全国の介護職員数は23年10月時点で約212万6千人。00年度に介護保険制度が始まって以来、初めて減少。今後の高齢化の進展を考えれば、人材確保が急務です。介護職員の待遇を改善しつつ、介護保険制度の持続

性と負担の公平性に期待を抱かざるを得ません。

また人材不足とともに叫ばれているのが人と人との交流、コミュニケーションの重要性です。企業では、ユニフォームを取り入れた新たな社内運動会が注目されています。従来の運動会とは違い、年齢・男女に関係なく、運動神経にも左右されないゲームは、適度な運動になり、しかも家族や友人との会話も弾みます。つつい無我夢中になつてしまうチャンバラ合戦（エアソフト剣使用）などは、童心に返りストレス解消にも役立ちます。

こうした取組みの背景には、コロナ禍の影響や職場・人間関係の意識変化などがあります。地域でのつき合い方も、変わりつつあります。会った時に挨拶する程度の「形式的つきあい」がよいと考える人が増えている傾向にあり、時代に合った「つながり方」が問われているとも言えます。

「超少子高齢・人口減少社会」「人生100年時代」と言われる中、当社会福祉協議会の理念は、「かけがえのない一人ひとりを大切に、助けあい・支えあいの心を地域に広げ、だれもが幸せで笑顔あふれるまち「たかはま」を目指します」と謳い上げています。

この地域共生社会の実現のためには、住民同士で支えあう地域づくりが核となります。

高齢者の単身世帯化が進み、誰もがひとり老後を迎える状況が迫り、また、ひきこもりや虐待、一つの世帯に介護と育児のダブルケアを抱えるなど、地域住民が抱える課題が複雑化・複合化しています。

当社会福祉協議会としましては、日頃の活動内容をもっともっと知っていただき、介護などの困り事が起きた時には、いきいき広場2階の「地域包括支援センター」か、3階の「社会福祉協議会」の窓口へ足を運んでもらえれば大丈夫、安心と言われる存在を目指しています。

民生・児童委員、主任児童委員の皆様には、地域住民の身近な福祉の相談役としてまた、元氣な子どもたちの成長と健康な高齢化に向けた取り組みに引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。



で「この事件は和解がいいとは思いますが、ついでに……」と提案します。ところが、その時は双方とも「あり得ない」と拒否。すると裁判官は「では、もう少しそれぞれとお話ししましょう」と言っていて、さらに双方と30分ぐらいつつ話す……、といつてもほとんどうなずきながら聞いている感じ。それが終わると再び集まって「改めてお話を聞いて、やはりこの事件は和解がいいと思います。ついでに……」と言いつつ、最初と全く同じ案を提案します。すると今度は双方とも「お願いします」と言って和解成立。おそろしく、十分に話を聞いてもらって「この人は、全部分かったうえでベストな提案をしてくれる」と思われたのでしようという内容です。民生委員・児童委員の皆様も、まずは相手の話をじっくり聞くことを心がけていらっしゃると拝察します。引き続きご支援をよろしく願っています。



「災害ボランティアセンター」をご存じですか

令和6年能登半島地震から2年が経ちました。被災地では、復興に向けて多くの方が現在も継続的に取り組んでいます。その復興支援に取り組まれている方の中に、災害ボランティアがいます。災害ボランティアは、被災地での家財の片付け、仮設住宅への引っ越し等の困りごとを自主的に無報酬で取り組んでいる方です。その活動をサポートするのが、社会福祉協議会が運営する災害ボランティアセンターです。高浜市では、災害時いきいき広場で開設する予定になっています。民生児童委員の皆様が、災害時の困りごとを把握しましたら、災害ボランティアセンターへご相談ください。



■民生委員・児童委員名簿

敬称略 (○印は新任委員)

担当地区	氏名	氏名
青木町	一・八・九丁目	典 厚 典
	二・三丁目	○ 神 杉 岩
	四・五丁目	岩 浦 月
	六・七丁目	内 鈴 藤
碧海町	一・二・三丁目	木 谷 八
	四・五丁目	神 島 田
春日町	一丁目	○ 岩 田 貞
	二・三・四丁目	岩 月 水
	五丁目	清 鷺 水
	六・七丁目	○ 鷺 見 潤
呉竹町	一・二丁目	下 村 政
	三・四丁目	神 谷 園
	五・六・七丁目	篠 田 幸
小池町	一・五・六丁目	内 藤 良
	二・三・四丁目	○ 加 藤 え
沢渡町	一・三丁目	磯 貝 恵
	二丁目	神 井 加
	四・五丁目	野 内 津
清水町	全域	竹 内 定
新田町	全域	○ 田 庄 弥
神明町	一・二丁目1.2.10~18	○ 加 藤 美
	二丁目3~9	三 藤 美
	三・四・八丁目	五 飯 久
田戸町	一・二・七丁目	杉 浦 美
	三・四丁目	岩 月 正
	五・六丁目	○ 木 村 進
豊田町	全域	加 藤 智
八幡町	一・六丁目	角 谷 昭
	二・三丁目1.2.3.5	内 藤 義
	三丁目6.7・四丁目	五 田 弥
稗田町	一丁目1.2.3.5.8・二・三丁目	山 本 達
	一丁目6.7・四・五・六丁目	深 神 直
二池町	一・五・六丁目	○ 神 谷 義
	二・三・四丁目	※ 杉 浦 紀
本郷町	一・六丁目	川 角 金
	二・三・四・五丁目	寺 田 弘
向山町	一・二・三・四丁目	○ 杉 浦 裕
	五・六丁目	内 藤 佳
屋敷町	一・二・七丁目	○ 毛 杉 保
	三・四・五・六丁目	高 桑 貴
湯山町	一・八丁目	左 右 幸
	二・三・四丁目1.2.8~14.16	○ 神 谷 政
	四丁目7(9棟~11棟)	原 谷 ユ
	四丁目5.6.7(4棟~8棟、葭池住宅以外).15.17	○ 内 藤 子
芳川町	一・二丁目	○ 杉 村 和
	三・四丁目	○ 浅 山 玲
	一丁目	二 正 要
論地町	二丁目	水 野 久
	三丁目	中 谷 幸
	四・五丁目	○ 中 谷 秀

■主任児童委員

敬称略 (○印は新任委員)

担当地区	氏名	氏名
市内全域	上 田 久美子	酒 井 幸代
	藤 浦 雅臣	

※当該地区委員が未定のため、決定するまでの間、隣接する委員に兼務していただきます。

令和7年12月1日より
民生委員・児童委員

主任児童委員が
一斉改選されました

主任児童委員が
一斉改選されました

民生委員・児童委員および主任児童委員は、地域住民の抱える悩みごとや地域の課題を解決するため、行政への働きかけや必要なサービスの紹介など、地域と関係機関とのつなぎ役として、地域の絆づくりを推進しています。

■民生委員・児童委員
担当地区内の高齢者や障がいのある方の見守り、子どもたちへの声かけや日常生活上の心配ごと相談に応じるなど、地域福祉の推進に努めています。

■主任児童委員
民生委員・児童委員と連携しながら、子育てに関する支援を専門に担当し、児童健全育成活動に取り組むなど、児童福祉の推進に努めています。 ※本改選では該当者なし

問合せ先
高浜市民生・児童委員協議会事務局
☎5219871

新任民生委員・児童委員紹介
【民生委員・児童委員】

<p>①内藤 た多子 ②湯山町四丁目7 (1棟~3棟)</p> 	<p>①島田 貞夫 ②春日町二丁目</p> 	<p>①角谷 義彦 ②八幡町二・三丁目 1.2.3.5</p> 
<p>①原 ユミ子 ②湯山町五六・七丁目</p> 	<p>①鷺見 潤子 ②春日町六・七丁目</p> 	<p>①田村 弥生 ②八幡町五丁目 新田町全域</p> 
<p>①庄子 晴美 ②神明町一・二丁目 1.2.10.18</p> 	<p>①杉浦 昇栄 ②青木町二・三丁目</p> 	<p>①加藤 えりか ②小池町二・三・四丁目</p> 
<p>①寺田 弘 ②向山町一・二・三・四丁目</p> 	<p>①木村 進午 ②田戸町五・六丁目</p> 	<p>①内藤 佳子 ②屋敷町一・二・七丁目</p> 
<p>①中谷 秀之 ②論地町四・五丁目</p> 	<p>①左右田 幸子 ②湯山町四丁目7 (9棟~11棟)</p> 	<p>①浅岡 玲子 ②芳川町三・四丁目</p> 

退任者挨拶

民生3期9年振り返り

内藤 潤治

在任中億劫と思うこともありましたが、一歩踏み出し職を通して体験・経験。高齢者訪問、社会福祉協議会、ステップ食事作り、赤い羽根募金活動、園・児童センター・福祉施設訪問など。活動を通して人との繋がりが多々あり、全ては人生の糧。

民生委員活動を振り返り

浅岡 律子

この度の改選で長年務めさせていただいた民生委員を退任するにあたり、新任委員の方が快くお受け下さった事に感謝申し上げます。嬉しかった事、苦しかった事等を思い浮かべる中で、研修などでは沢山の経験させて頂き私の宝となりました。ありがとうございました。

退任にあたり

杉浦 しげ子

この度定年退任することになりました。在任中は皆様のご助力のおかげで活動できました事を心から感謝いたします。今後は多々な活動のなか学ばせていただいた事を微力ながらも地域のお役にたてられたらと思っております。ありがとうございました。

出合いに感謝

平野 しげ子

このたび、民生・児童委員を退任することになりました。18年間多くの方に支えられ心温まるつながりや経験をいただきました。今後は一住民として、これまでと変わらず地域を大切にしたいと思えます。長い間、本当にありがとうございました。

学び多き経験

野々山 裕江

人生における成長機会と捉え、民生委員の役を引き受けました。地域の方々と関わり、貴重な経験を積ませて頂きました。特に見守り活動の中でかけて頂いた感謝の言葉と笑顔が印象に残っています。今後も微力ながら、地域活動に協力する所存です。

退任にあたって

坂本 幹江

活動中は様々な事を学ばせて頂き貴重な人生勉強となりました。地域住民から行政へとなご役割の大切さ、とても実感致しました。3年の短い期間でしたが少しでもお役にたてていれば幸いです。皆様には大変お世話になり感謝しております。

民生・児童委員退任を向かえ

野々山 美枝

何の知識もないままに民生委員をお受けして、何とか周りの方々の助けを得ながら9年を終えようとしています。様々な方との交流を経て、貴重な縁と絆を感じつつ、皆様方への感謝を申し上げながら、9年間を終えます。ありがとうございました。

民生委員活動を終えて

杉浦 千枝子

民生委員になると新型「口ナ」で活動制限が暫くして始まりました。普段の活動になり、他の委員の方と食事作りや作業所での作業、研修会への参加等楽しく過ごせました。活動を通して地域とのつながりも実感でき、6年間ありがとうございました。

退任のご挨拶

宮田 一枝

私も少しは地域のお役に立てるかなと思ひまして、民生・児童委員をお引き受けしました。が見守りの方々も含めてたくさんの方々との出合いがあつて、逆に支えていただいていた委員期間を過ごすことが出来ました。ありがとうございました。

退任にあたり一言

神谷 香代子

民生・児童委員の皆様と共に研修会や勉強会に参加させて頂き貴重な体験になりました。独り暮らしの方も私達の訪問を楽しみに待っているのだと思ひました。今後も皆様のご健康を願っております。18年間ありがとうございました。

今、振り返ると

横井 光義

任期開始から12年が経過し、私自身が70才半ばの後期高齢者の仲間入りをしていました。今まで一人暮らしの方々に訪問させて頂きましたが、今後は逆に私が見守りを受ける立場となります。今後は毎朝のラジオ体操とホコタッチで健康に留意します。皆さんに感謝いたします。

感謝

隈河 裕治

この度、半田市への転出に伴い、退任させて頂く事となりました。在任中は、皆様から温かいご支援・ご指導を頂き、3年の短い期間でしたが大役を無事に務める事ができました。誠に有難うございました。今後、益々の皆様のご活躍とご多幸を祈念申し上げます。

任期を終えて

板倉 三平

委員を2期務めさせて頂きました。着任当初、見守りの方々にごちない対応でしたが皆さん優しい方々ばかりで、じきに溶け込めました。任期中は重大事故も起きず特に困った事態もなくほっとしております。お年寄りのご健康と委員の皆様方のご活躍を願っています。

貴重な経験

安藤 順子

高齢者の見守り、子供達とのふれ合い、様々な研修、委員さん達との話し合い等、民生委員として貴重な時を頂いた事に大変感謝しております。今後この経験を少しでも役立てていけたらと思ひます。皆様のご健康、ご活躍を念じ、退任させて頂きます。有難うございました。

退任にあたって

神谷 達実

この度、6年にわたる民生・児童委員の任期を無事に終えることができました。活動する中で「地域福祉」に対する意識や人と人のつながりの大切さは、かけがえのない財産となりました。民生委員や行政の皆様には大変お世話になりました。

皆様お疲れ様でした！



退任された皆様

部会紹介

高齢者福祉部会

部長 神谷 政光

この度の改選で部長という大役を務めさせて頂いたことになりました。若輩者ではありませんが、部会員の皆様にご協力をいただきながら、責務を果たせるよう精一杯努めさせていただきます。高浜市では、地域包括ケアシステムの推進と地域づくりを一体的に進めております。すべての人が、支援の支え手と受け手を分離して固定することなく、一人ひとりの暮らしと生きがいをもとに創り、高め合っていくことができる地域共生社会の実現に向けて、私たちもその一助となれるよう行政と連携し地域社会の奉仕に努めてまいります。昨今、高浜市は緩やかに人口が減少しておりますが、65歳以上の人口は増加しており、今後この流れは続く予想されます。当部会では市内にある宅老所や養護老人ホームへの慰問、視察研修等を予定しており、現場へ直接訪問し、見て・聞いて・学ぶことで高齢者に対する理解を深める事ができるような活動させて頂きたいと思います。

児童福祉部会

部長 内藤 靖子

児童福祉部会では、保育園、児童センター等の施設訪問、学校生活指導主任との懇談会、教員長との懇談会を開催し、情報交換を行っています。わくわくフェスティバルでは、かえっこパズールのお手伝いに入り、楽しい時間を過ごすことができました。研修では、碧南市の児童養護施設オリーブを見学し、子供達の生活を垣間見たような気がします。こつた活動を通して、子供達を取り巻く環境がいかに複雑で、多様化しているかを知り、対応の難しさを感じました。日々の活動では、ワクチン支援となるペットボトルキャップ、学校教材購入に使えるベルマークの回収事業を行っています。子供達と接する機会は少ないのですが、部会での経験が地域活動の際、お役に立てるよう努めてまいります。今後ともよろしくお願ひいたします。

障がい者福祉部会

部長 川角 金和

この度の一斉改選で、当部会では6名の委員さんが退任されましたが、新委員さん6名を迎え活動をスタートしています。隔月の授産所高浜安立の作業支援も各委員が交替で従事しており、入所者との良好なコミュニケーションがとれております。今年度も高齢者福祉部会と合同で、長久手市の介助犬総合訓練センターシンシアの丘を訪問し、手や足に障がいのある人の日常生活をサポートする介助犬の育成、訓練を見学しました。盲導犬訓練センターと同様に補助犬についての知識と障がい者への気遣いが大事であることを再認識しました。障がい者差別解消法が制定され、合理的配慮の提供が義務となり、各所でバリアフリー化が進んでいます。介護ヘルパーの代わりとなる補助犬も大きな助けになっています。12月には、ポッチャ大会に参加しました。障がい者、老若男女が一緒になってできる催しは大変意義があり、より一層の普及に協力していきたいと思ひます。又、恒例の高浜市手をつなぐ育成会のクリスマス会の飾りつけのお手伝いも大勢の部会員の参加でとても喜んでもらえており、継続していきたい活動です。

あかりの会

部長 神谷 八千代

令和7年12月の改選にてあかりの会の部会長を任せられました。あかりの会とは、民生・児童委員すべてが参加する活動で、子ども達とコミュニケーションをとる食の活動です。活動内容は、学習等支援事業「ステップ」にて、年に11回第3土曜日にいきいき広場3階クッキングスタジオで行われています。民生・児童委員は7名が小・中・高の子どもの為にカレーライスやデザート、サラダなどを作ります。子ども達をはじめボランティアスタッフには、大学生や社会人も一緒にテーブルをばさんで一緒に触れあうことで、楽しい会食会になります。あかりの会を通じて、食事や子ども達との会話の中で、現代のライフスタイルの現実がみうけられます。初めて食べた食材に驚いたり、食べられなかった野菜を初めて食べられた話はいくつもあります。人は人と一緒に成長する。今後ともこの活動が長く続けられるように願っています。

活動スナップ



第37回愛知県社会福祉大会



一斉改選前研修



長久手市との民生・児童委員交流会



介助犬総合訓練センター シンシアの丘への研修訪問

一斉改選前研修に参加して

神谷 義彦

2025年大阪・関西万博を訪れ、「未来の都市」をテーマとしたパビリオンを見学してまいりました。会場に足を踏み入れた瞬間、これからの社会がどのように変わっていくのかを肌で感じられるような空間が広がっており、まるで自分が遠い未来へ旅をしたかのような、不思議な気持ちになりました。長年さまざまな技術の移り変わりを見てきましたが、今回の展示はその延長線上にある、「次の時代」をはっきりと示しているように思いました。

パビリオンの中では、最新の技術が生活の中に自然に溶け込んだ未来の姿が紹介されていました。ＡＩやロボットを活用した都市の運営、環境への負荷を抑えるエネルギー循環の仕組み、人々の移動を支える新しいモビリティなど、どれも現実味があり、未来はもうすぐそこまで来ているのだと感じました。また、来場者が実際に触れたり体験したりできる展示も多く、未来社会は決して遠い世界の話ではなく、私たち一人ひとりがつ

くり上げていくものだという思いが強まりました。

特に心に残ったのは、自然と共に生きる都市の姿です。自然エネルギーの活用や資源を循環させる仕組みが丁寧に組み込まれ、都市が自然と対立するのではなく、調和しながら発展していく未来像が示されていました。気候変動が深刻化する今、持続可能な社会づくりは避けて通れない課題であり、その解決に向けた提案を見ることができたのは大きな収穫でした。年齢を重ねるほど、次の世代にどのような環境を残せるかという思いが強くなり、展示を見ながらその責任を改めて感じました。

今回の見学を通じて、未来の都市とは単に技術が進んだ便利な場所というだけではなく、人と自然、そして社会全体がより良い関係を築くための場であると改めて感じました。万博が掲げる「いのち輝く未来社会のデザイン」という理念が、展示を通してしっかりと形になっており、未来への希望を抱く良い機会となりました。今回得た学びを胸に、これからも自分でできることを一つずつ実践していきたいと思えます。

学校への窓口

高浜小学校	神谷 厚典
吉浜小学校	毛受 保紀
高取小学校	川角 金和
港 小学校	岩月 正二
翼 小学校	杉浦 貴子
高浜中学校	立川 智昭
南 中学校	神谷 義彦

編集後記

令和7年12月に、3年ごとの民生・児童委員の全国一斉改選が行われ、15人の新任委員さんが就任されました。すぐに訪問活動が始まり、初めは手探り状態だと思いますが、人生の先輩方にお話を伺うという気持ちで訪問されてはいかがでしょうか。又長年ご活躍され退任された委員の皆様、お疲れ様でした。昨今の猛暑、生活環境の変化に対処しながら、委員の皆様、事務局の方々と共に、市民の皆様への足元を照らす「あかり」となれますよう、しっかりと活動していきたいと思えます。

連絡先 高浜市民生・児童委員協議会

☎521-9871